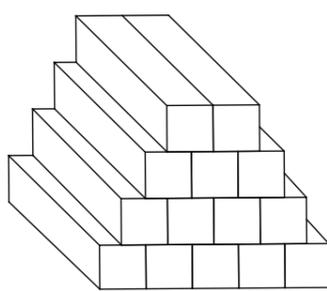


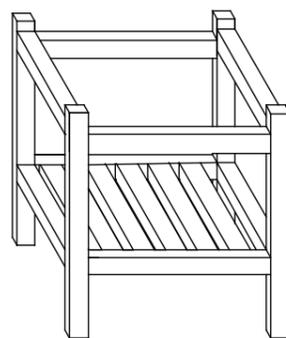


Assembly Instruction

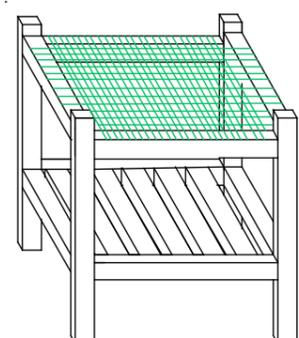
# knit stool



1



2



3

wood

脚：①420×35  
長手方向の貫：②430×35  
短手方向の貫：③310×35

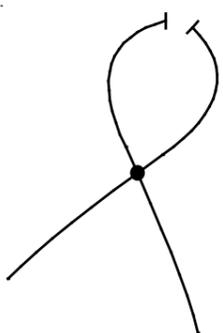
straw rope

×48

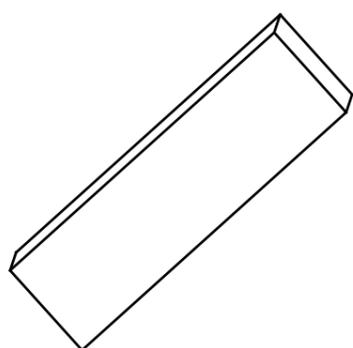
dabo

×48

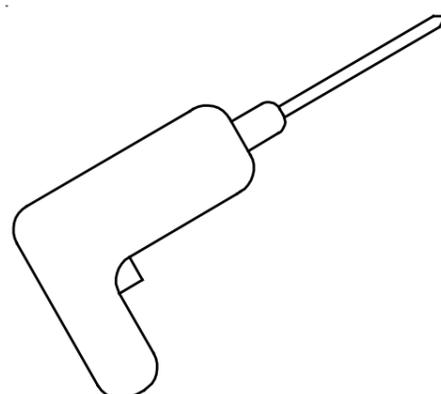
## • tool



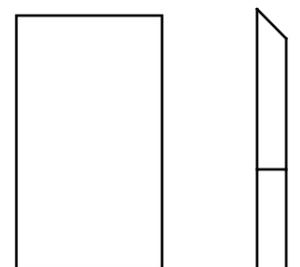
clamp



作業用板



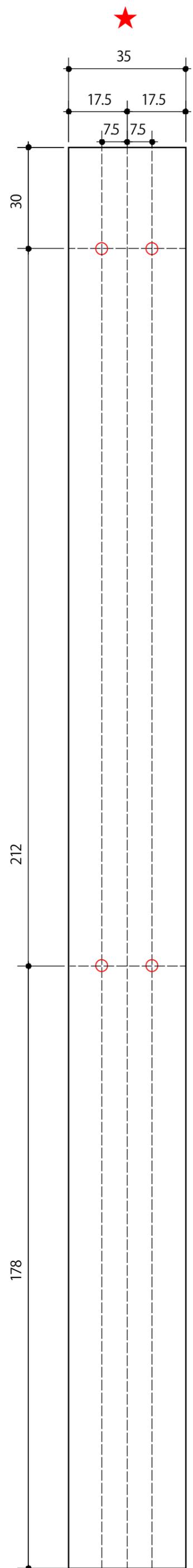
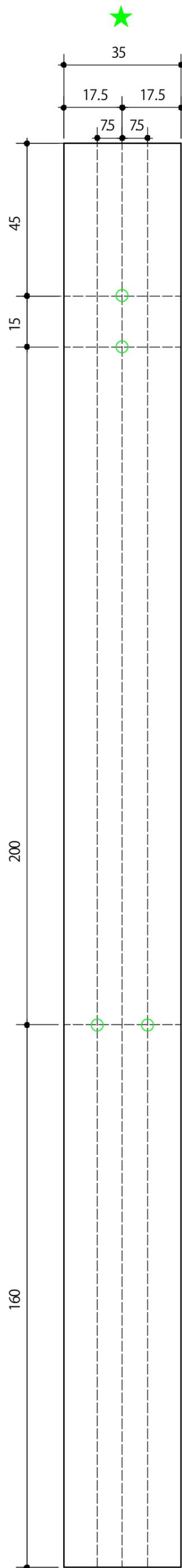
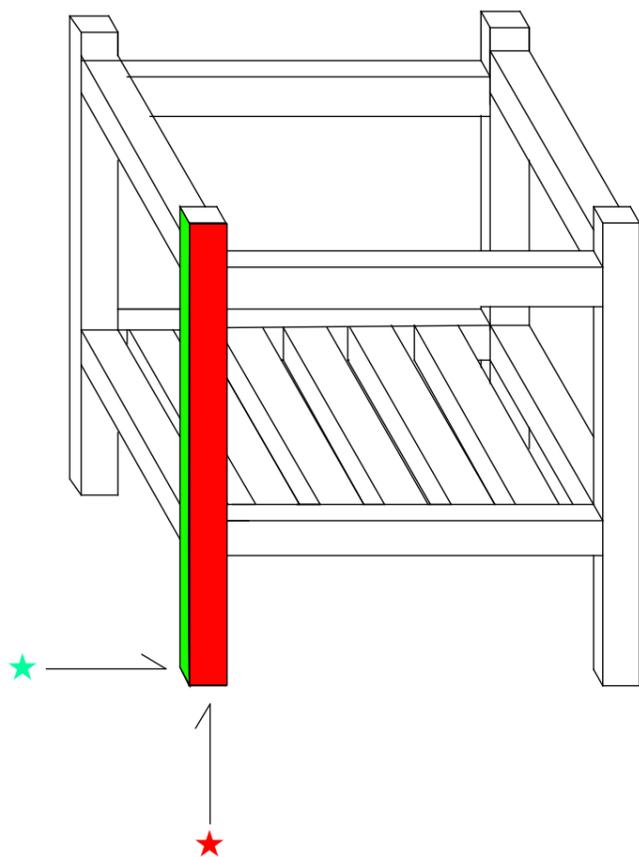
impact driver

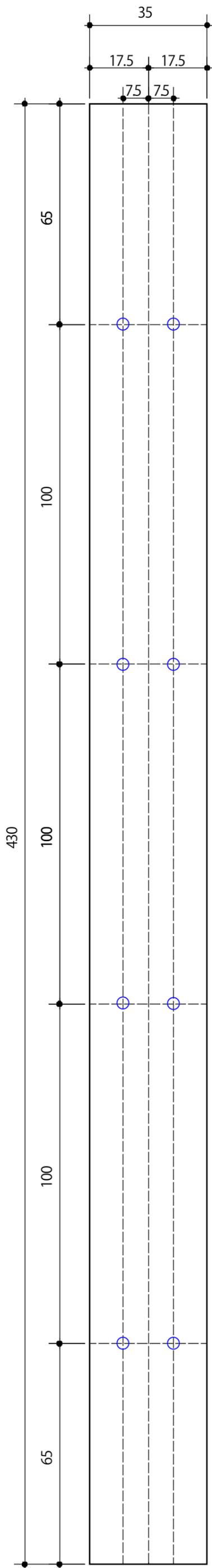


sand paper • knife

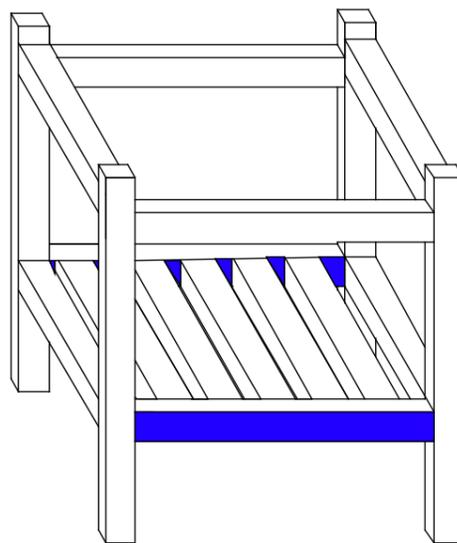
# 1. 墨付け

①の角材4本に、穴を開けるための墨付けをします。  
角材一本の★の面と★の面それぞれ墨付け、全部合わせて、8面に墨付けをします。



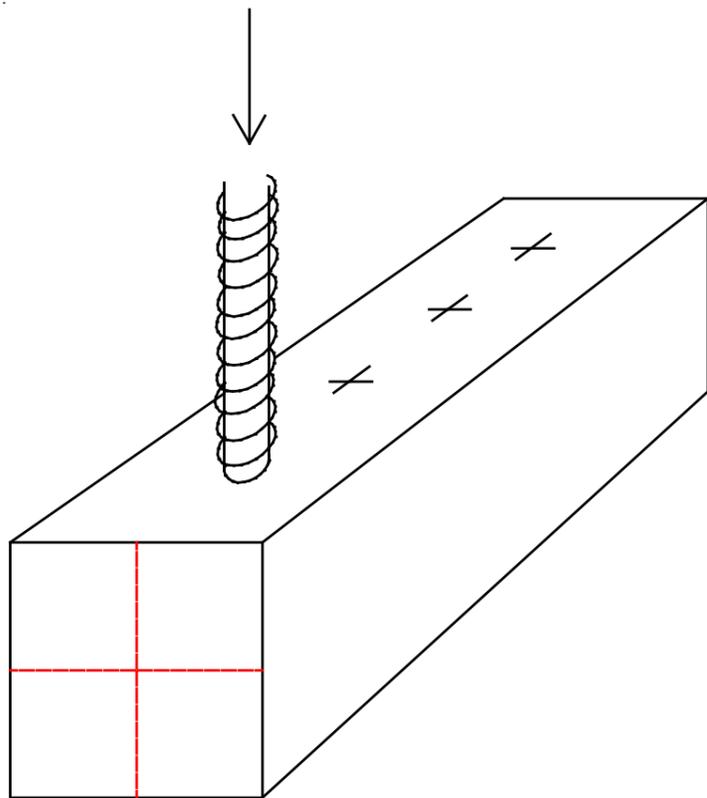


②の角材2本に、一面のみ、左図の  
ように墨付けをします。



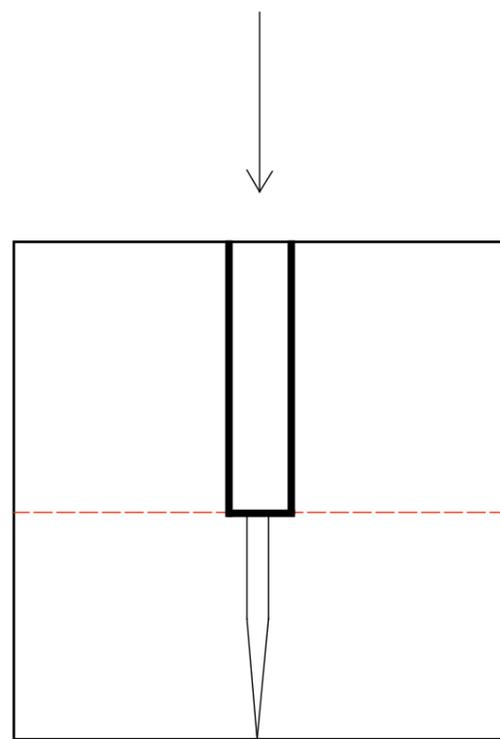
## 2. 穴あけ

0.8 cmのボール盤

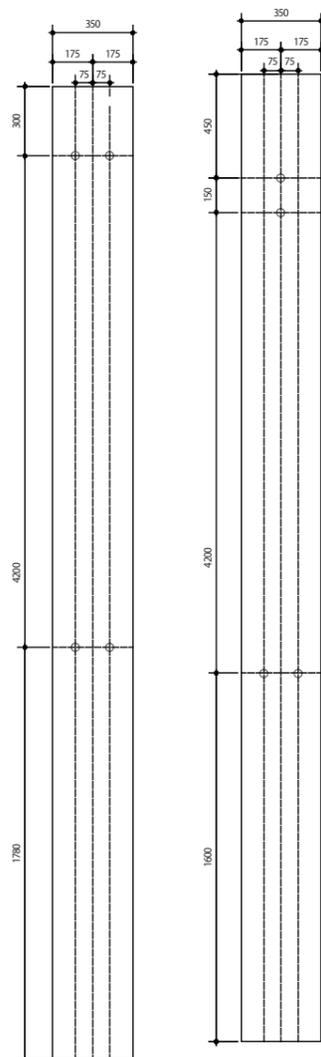


ビスを打つためのダボ穴を開ける

- 直径 0.8 cmのダボ穴
- 穴を開ける際、貫通しないように注意する



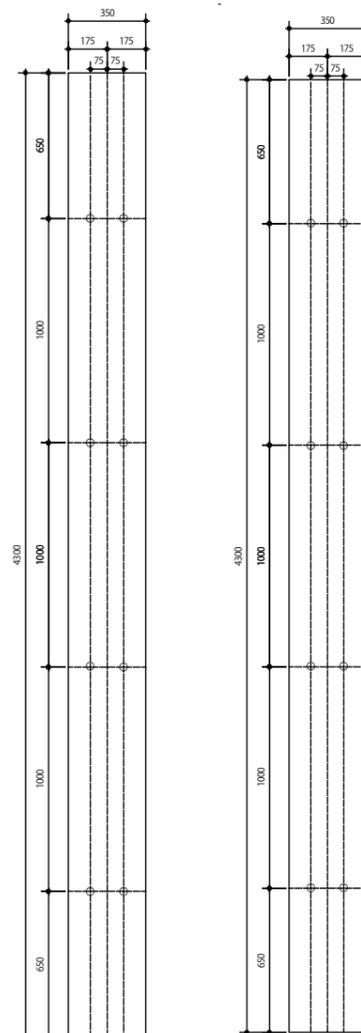
半分より少し下のライン



← ①の角材 4本

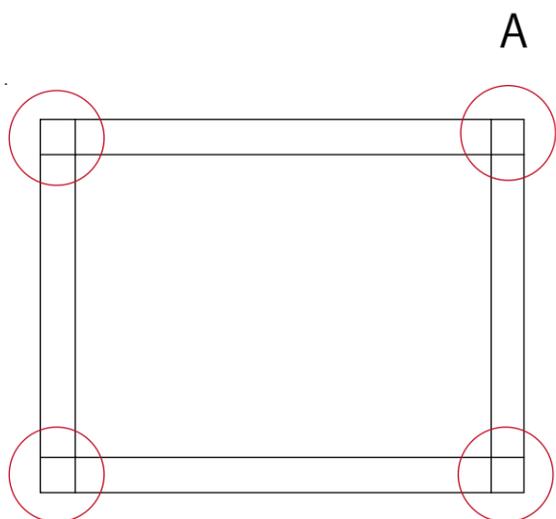
②の角材 2本 →

1で墨付けした角材全てに穴を開けます。



### 3. ビス止め

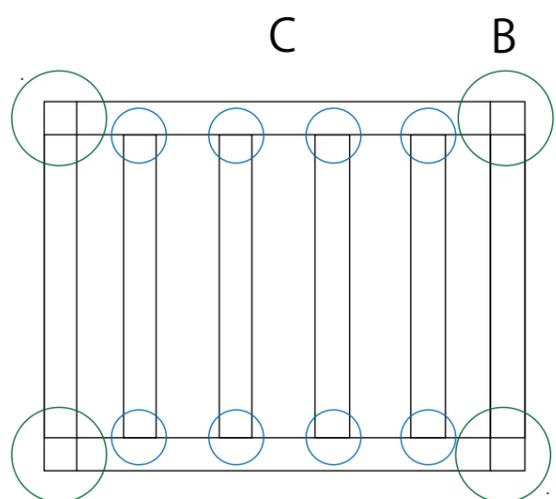
2のダボ穴の奥にビスを打ちます。



A

○ — ○ — ○ の順にビスを打つ

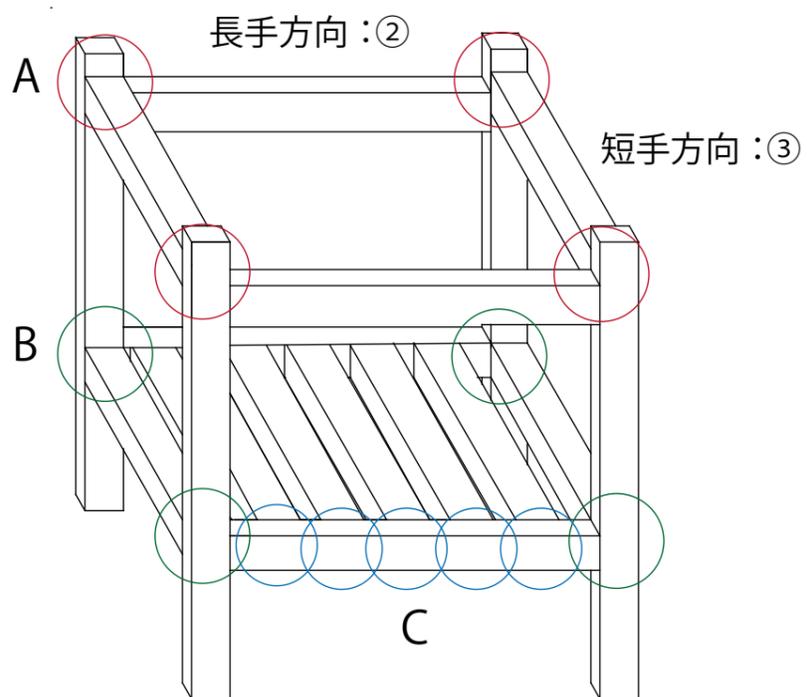
座面



C

B

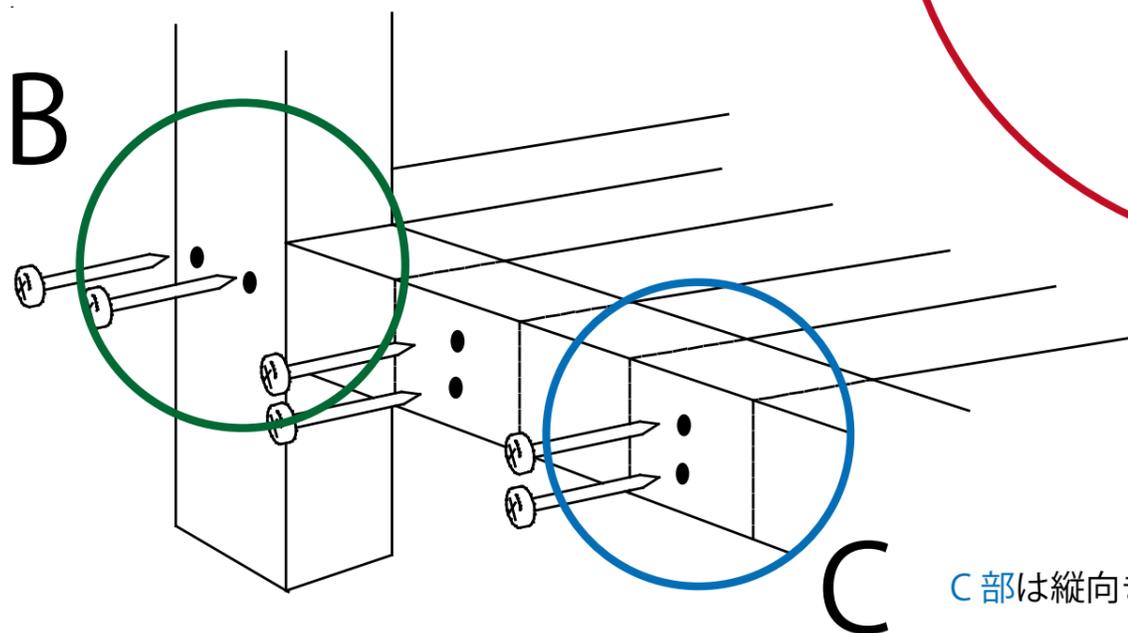
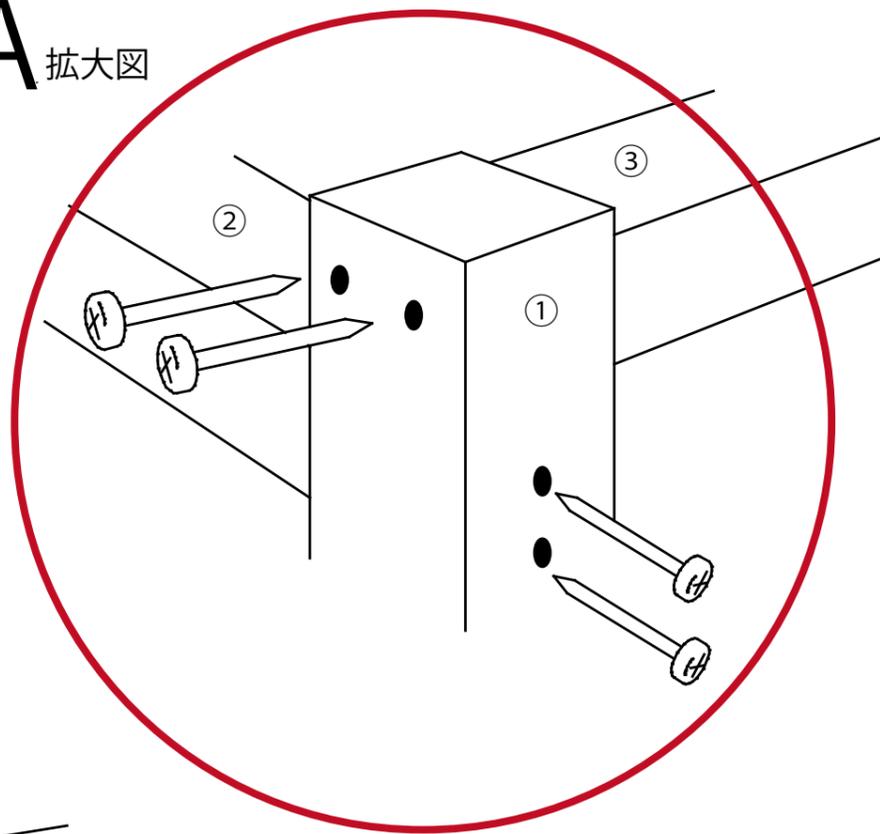
収納スペース



○A部と○B部のビス穴は、  
②の長手方向に縦2本、  
③の短手方向に横2本、  
となるよう確認しながら打つ

拡大図

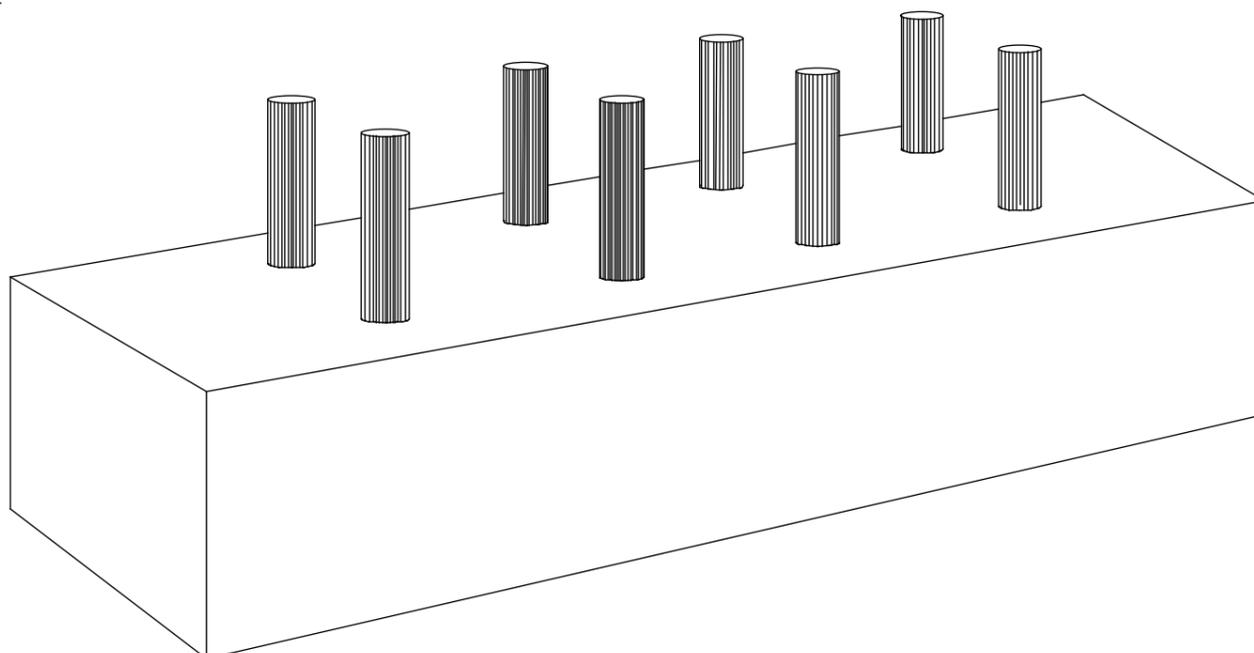
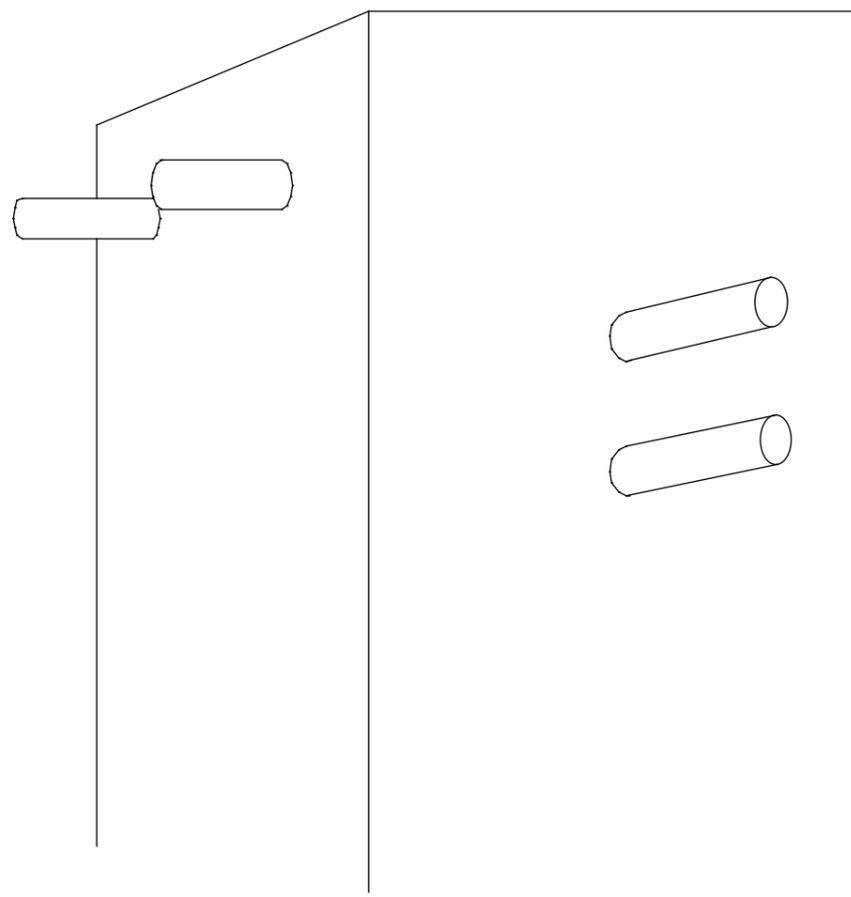
A 拡大図



C部は縦向きにビスを打つので注意

#### 4. ダボ埋め

ビスを全部打ったらビス穴が見えないように  
ダボを差し込みます  
ダボが入らない場合はトンカチなどで軽くた  
たくと入りやすくなります。



ダボを全部差し込んだら、飛び出ている部分をナイフで切り落とします。  
切り落といたら、紙やすりで滑らかにします。

木脚全体も紙やすりで滑らかにすると座り心地が良くなります。

## 5. 藁紐で編む

①



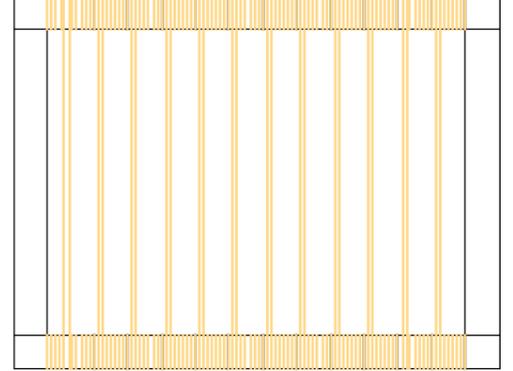
紐を6周巻きつける。  
結び目が目立たないように、内側  
に入れ込みながらまきつけます。

②



巻きつけたら対面にも6周巻きつける

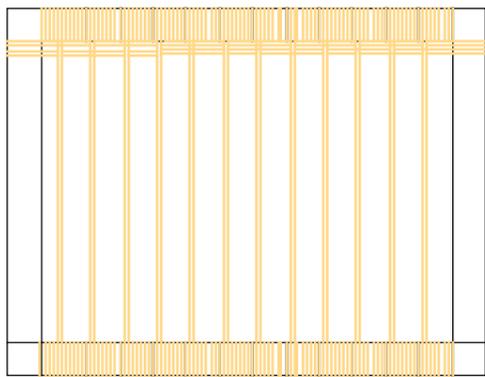
③



①と②の工程を繰り返す

★紐を巻きつける際、紐がたるまない様  
に作業用板を置いて紐を張りながら編む

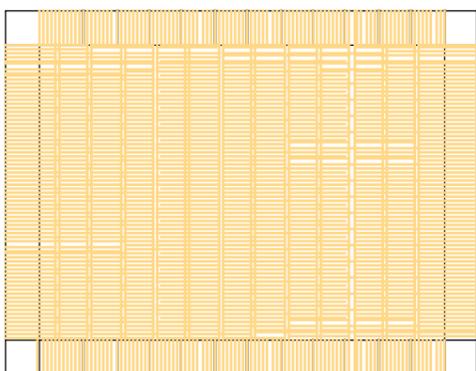
④



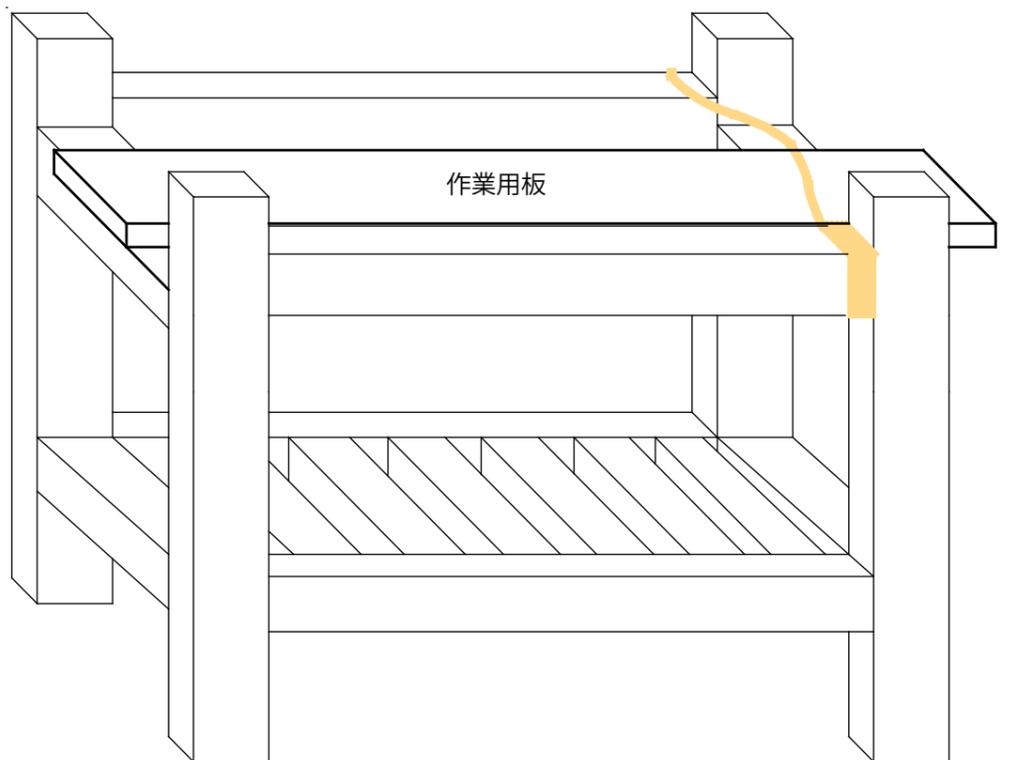
縦紐を編み終わったら、残った紐と横紐を座  
面の裏で結んで繋ぎ、横方向に編みます。  
★具体的な編み方は動画に記載されています。



⑤



隙間があかないように紐を張りなが  
ら編めたら完成



大まかに5つの順番に進めていきま  
す。カノコ編みの特徴である交互に編  
んでいくデザインは隙間なく紐を張り  
ながら制作します。途中板などを使い  
紐を張って引っ張りながら制作しま  
しょう。



カノコ編み参考

